

優しく強い子に！

第44回 秋季リーグ Cクラス

10月20日(日) 緑が丘小学校



○メンバー
シュン君、ユウキ君、ユウト君、アツヤ君、ハルト君
コウキ君、スカイ君、マナカちゃん、カノンちゃん、

○試合のめあて
・技をたくさん使う(ユウキ君)。
・みんなで力を合わせてボールを取る(カノンさん)。
・スペースヘドリブルをする(シュン君)。
・団子サッカーをする(ユウト君)。

○試合結果
南八王子0-10大和田SC 前半0-6

試合開始から相手のパスサッカーに対して、南の団子サッカーができなかったけれど、2年生のシュン君が相手のボールを取りに行くと、1年生も続いてフォローするプレーが出てきていました。

前半5分まではみんなで粘っていたものの、相手のミドルシュートで先制点を奪われると立て続けに失点で前半終了。

後半も相手のパスサッカーや蹴ってくるプレーにボールを取りに行くことができず足が止まり見てしま

うことで、相手がドリブルしてからの得点で失点などがありました。その中でもシュン君の体を張った守備やマナカちゃんのドリブル、みんなが味方をフォローするプレー、幼児の二人もガンバって相手のボールを追いかけました。

写真提供は白鳥さん THANKS

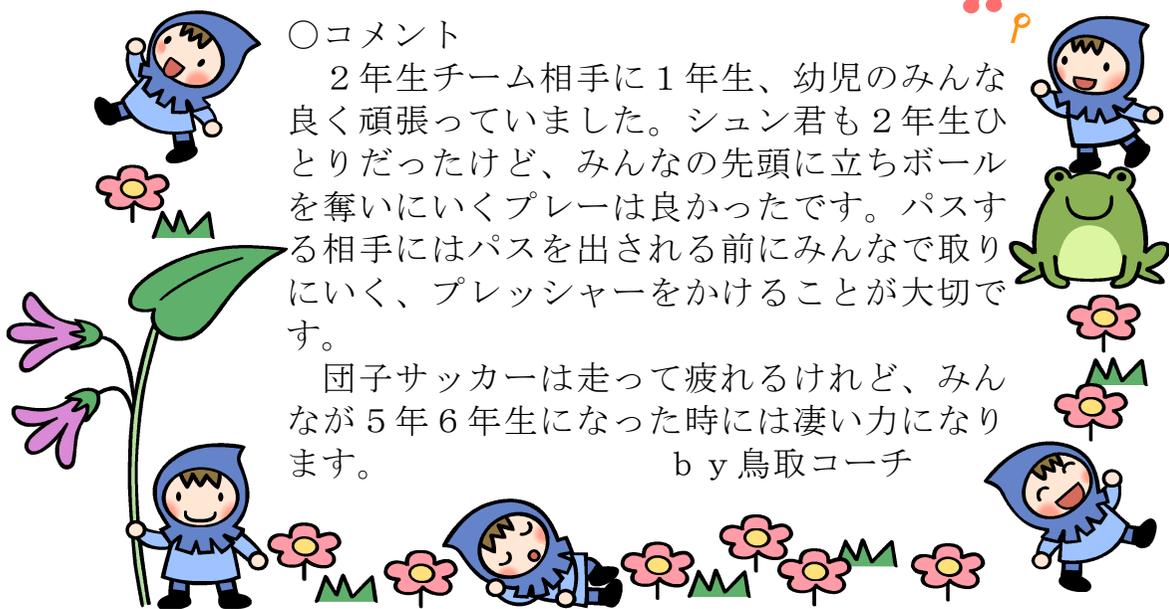


○コメント

2年生チーム相手に1年生、幼児のみんな良く頑張っていました。シュン君も2年生ひとりだったけど、みんなの先頭に立ちボールを奪いにいくプレーは良かったです。パスする相手にはパスを出される前にみんなで取りに行く、プレッシャーをかけることが大切です。

団子サッカーは走って疲れるけれど、みんなが5年6年生になった時には凄い力になります。

by 鳥取コーチ



ご免なさい！！

10月20日(日)の全日本ブロック予選は日野市の旭に敗れました。
○南八王子0-2旭 前半0-2 立ち上がり、GKへのバックパスからビルドアップの乱れを突かれて失点。時間をおかずに右バイタルエリアからミドルを撃たれて2失点目。相手のシュートは3本。南は5倍以上のシュートを撃ちながら、ポストに守られたり、GK真正面等々、得点できずに敗れたのです。

明日は全日本ブロック予選という19日の文化大Gでの練習で、6年生にはこんな内容をとメニューを前の日から考えていました。
①渡り廊下の攻め ②くさびからの展開 ③GKに落としたあとのGK→SB→SHへのビルドアップ ④コーナーキックの攻防

練習の始め、まず、6年生に「明日の全日本ブロック予選に向けてどんな練習をしたら良いかな？」と問いかけました。「試合・ゲームをする」という答えでした。

「ゲームも良いけど、基本的な攻めや守りのパターンとか練習・確認しないでいいのかな。ラグビーの日本代表は240日もあらゆることを犠牲にして合宿をして、たくさんの攻めや守りのパターンの練習をしたんだってよ」と私は言いました。



アップの後、指導を任されたので①の渡り廊下の攻めを3パターン指導しました。②③④もやりたかったのですが、ゲームを1時間やりたいということだったので、断念しました。

悔やまれるのは、③と④をやらなかったことです。GKとして非凡な才能を発揮しているユウカさんとSB・SHのビルドアップ：③をしっかり練習・確認できていれば最初の失点はなかったのではという反省です。ゲームの時間を削ってでもその練習をしなかったことが悔やまれるのです。

子ども達に謝らなければいけません。ご免なさい！！

南の後に試合をしたチームは4-0で勝利しています。2002年の日韓Wカップの韓国のように、ボールを持つと必ずドリブルしていました。渡り廊下をドリブル突破してプルバックを狙っていました。南も渡り廊下の突破をユウシン君・トウイ君が何度もチャレンジしてチャンスを創っていましたね。

④のコーナーキックです。南の後に試合をしたチームはコーナーキックの時、ペナのアーキバ通りに4・5人が塊になり、反転をしながら地引き網のような半円を作ってキックに合わせて、ニアへ、センターへ、ファーへとアプローチしていました。そのような練習を19日にやりたかったのです。

普段の練習でも必ずメニューに入れてください。コーナーキックの攻防を！旭戦。10本を越えた南のコーナーキック。5年のカイト君の優しいボールに一度も合わせる事ができなかった南のレベルをなんとかしたいですね。

戦後のアメリカのプラグマチズム教育(生活に役立つことだけを学習する・経験主義の教育)が成果を挙げられず、1957年10月のソ連のスポーツニク1号：人類初の人工衛星に先を越されたショックで、基礎・基本を論理的・系統的に教える学校教育に方針を転換した出来事がありました。矢上が6年生。

サッカーでも、個人の基礎技術・スキルアップなくして、基本的な攻め・守りのパターンの練習・理解・修得なくして、ゲームの練習をしても、成果は挙がらないのです。

基礎・基本とゲームの繰り返し、練習したことの成果を試し合う試合の繰り返し、M-T-Mが何より大切です。

by 南の安版万



写真は6年生 市民スポーツ大会 館町戦 10月14日(月) 川町G
平山さん提供 THANKS

